

日本・フィンランド外交関係樹立 100 周年 - 2019 年

主な文化イベント 2017 年 12 月 15 日現在

マリメッコ・スピリッツ

- パーヴォ・ハロネン / マイヤ・ロウエカリ / アイノ=マイヤ・メツォラ

本展はマリメッコ社の若い才能あるデザイナーとプリント制作に焦点をあてる。

2017 年 11 月 15 日- 2018 年 1 月 13 日 会場：ギンザ・グラフィック・ギャラリーGGG

主催：公益財団法人 DNP 文化振興財団

- エラマンタパ - マリメッコの暮らしぶり - 展

本展はマリメッコデザインの伝統を通して、フィンランドと日本の暮らしぶりの対話を探る。

2017 年 12 月 15 日- 2018 年 2 月 28 日 会場：ギャラリー・エークウッド

主催：公益財団法人 ギャラリー・エークウッド

東京開催の後、上記 2 つの展覧会は「マリメッコ・スピリッツ - Finland Meets Japan」と題して一つになり、2020 年まで日本各地を巡回する。日本巡回展は S2 コーポレーションの企画、コーディネートによる。

フィンランド陶芸 - 芸術家たちのユートピア

フィンランド・デザインのゴールデン・エイジと呼ばれる 1950 年代から 1960 年代の陶芸作品を中心に展示する。本展は 2018 年 4 月から 2019 年 10 月まで日本 5 都市、茨城、東京、岐阜、山口、大阪を巡回。

アイノ・アールトとアルヴァ・アールトその建築とデザイン わかちあう仕事の世界

アイノとアルヴァという二人のアールトが、建築家として歩みはじめる 1924 年から、アイノが他界する 1949 年までの 25 年間という時を、6 つの視点を通じて見つめる。

2018 年 6-8 月 ギャラリー・エークウッド、東京

2018 年 9-11 月 世田谷美術館、東京

本展は 2019 年を通し、2020 年 6 月まで、日本を巡回する。

石本藤雄 展

石本藤雄氏による大型個展。2018 年、生誕地愛媛県からはじまり東京を含む国内 3 都市を巡回する。作家活動初期の marimekko のテキスタイルを復刻し、そこから想を得た新しい陶芸作品とともに、実、絵皿などを展開する。



ルート・ブリュック 展

フィンランドを代表するセラミック・アーティスト、ルート・ブリュック（1916－1999、没後 20 年）の展覧会。約 170 点の作品を通し、アート、デザイン、建築の境界を超えた仕事の全貌を日本で初めて紹介。

2019 年 4－6 月 東京ステーションギャラリー

2019 年 9－10 月 伊丹市立美術館、兵庫

2020 年 4－6 月 岐阜県現代陶芸美術館

ムーミン 展

フィンランドを代表する人気キャラクター「ムーミン」の小説、絵画など全貌を紹介。

2019 年 4 月 9 日～6 月 16 日、東京・六本木の森アートセンターギャラリーを皮切りに全国巡回。

ピエタリ・インキネン指揮日本フィルハーモニー交響楽団

《2019 年 フィンランド・日本外交関係樹立 100 周年記念演奏会》

日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者ピエタリ・インキネンが指揮し、2019 年 6 月にシベリウスを含むフィンランドの楽曲を東京と横浜で演奏する。

ラヤトン Japan Tour 2019

名門シベリウス・アカデミーから生まれたフィンランド史上最高のアカペラ・グループ「ラヤトン」のジャパン・ツアー。

日本・フィンランド外交関係樹立 100 周年を飾る公演等を日本各地で開催。2019 年 10～11 月予定。

マリタ・リウリア 展

フィンランドを代表するアーティストの 1 人、マリタ・リウリアの 14 年ぶりとなる東京での個展をスパイラルで開催。

2016-17 年にフィンランドのセラッキウス美術館で開催された「GOLDEN AGE」展をベースに、新作も含めて出展・構成。

フィンランドで

ジャパノマニアⅡ - 北欧のジャポニズムとフィンランド・スウェーデンのモダニズム 1900-1970

アテネウム美術館、ヘルシンキ

「北欧のジャポニズムⅡ」は、東洋の文化が 20 世紀初頭から 1960 年代までのフィンランド、スウェーデンの美術、デザインにいかに関与したかを検証する試みである。北欧の絵画やデザインが東アジアの工芸品とともに紹介され、日本民藝館のコレクションからも 80 点ほどの工芸品が出展される。

日本のマンガ・アニメ 展

近代マンガの巨匠の作品に登場するヒーローたちを紹介。

